

平成 22 年度御殿場市環境マネジメントシステム 取組結果報告書

御殿場市では、平成 21 年度より御殿場市環境マネジメントシステム（EMS）を制定・運用し、環境推進活動を実施しています。

本システムは、市のすべての施設・組織・職員を対象として、事務及び事業活動に伴う環境の向上及び環境への負荷を継続的に低減するものです。

○平成 22 年度 達成状況

環境の向上及び環境負荷の低減に関する取組項目		目標値 (基準年度との比較)	平成22年度実績値 (基準年度との比較)	達成度
省エネルギー・省資源の推進	温室効果ガス総排出量の削減	排出量 (t) (基準年度[H17]比) ※平成17年度実績3,600t	平成23年度までに 3,420.0t (△5.0%)	3,515t (△2.4%) 未達成
	電気使用量の削減	排出量 (t) (基準年度[H17]比) ※平成17年度実績1,997t	平成23年度までに 1,889.0 t (△5.4%)	2,373 t (18.8%) 未達成
	公用車燃料使用量の削減 (走行距離を含む)	排出量 (t) (基準年度[H17]比) ※平成17年度実績311 t	平成23年度までに 295.8t (△4.9%)	262t (△15.8%) 達成
	その他の燃料使用量の削減 (A重油、灯油、都市ガス、LPG、ガソリン、軽油)	排出量 (t) (基準年度[H17]比) ※平成17年度実績1,292 t	平成23年度までに 1,235.2t (△4.4%)	880t (△31.9%) 達成
	紙使用量の削減	紙使用量 (kg)	平成23年度までに 119,199kg以下 (基準年度[H17])	103,962kg (△12.8%) 達成
	水使用量の削減	水使用量 (m ³)	平成23年度までに 186,724m ³ 以下 (基準年度[H17])	169,080m ³ (△9.4%) 達成
廃棄物の減量化・リサイクルの推進	可燃ごみ排出量の削減	排出量(kg) (基準年度[H17]比) ※平成17年度実績123,436kg	平成23年度までに 118,869kg (△3.7%)	132,465kg (7.3%) 未達成
	グリーン購入の推進	環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを優先的に購入	平成23年度までに 適合率70%以上	71.5% (1.5%) 達成

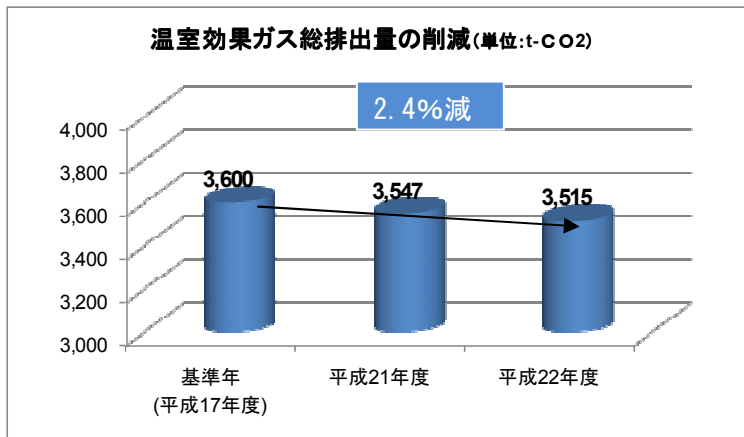
環境マネジメントシステムの取組項目を、電気使用量、公用車燃料使用量、暖房等に利用するその他燃料使用量からなる「温室効果ガス総排出量」、「紙使用量の削減」、「水使用量の削減」、「可燃ごみ排出量の削減」及び「グリーン購入の推進」とし、それぞれ削減目標等を設定しています。

目標達成項目は、紙使用量の削減（基準年度より 12.8%減）及び水使用量の削減（基準年度より 9.4%減）、グリーン購入の推進（目標値より 1.5%向上）となっています。

目標未達成は、温室効果ガス総排出量の削減（基準年度より 2.4%減）、可燃ごみ排出量の削減（基準年度より 7.3%増）となり、目標達成に向け一層の取り組みが必要となります。

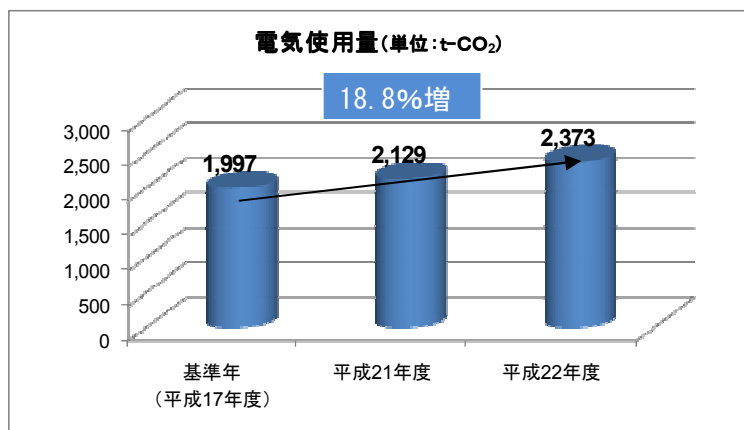
1 省エネルギー・省資源の推進

(1) 温室効果ガス総排出量の削減



温室効果ガス総排出量は、基準年（平成 17 年度）と比較すると 85 t - CO₂ (2.4%) 減少しており、平成 21 年度に比べると 32 t - CO₂ (0.9%) 減少している。

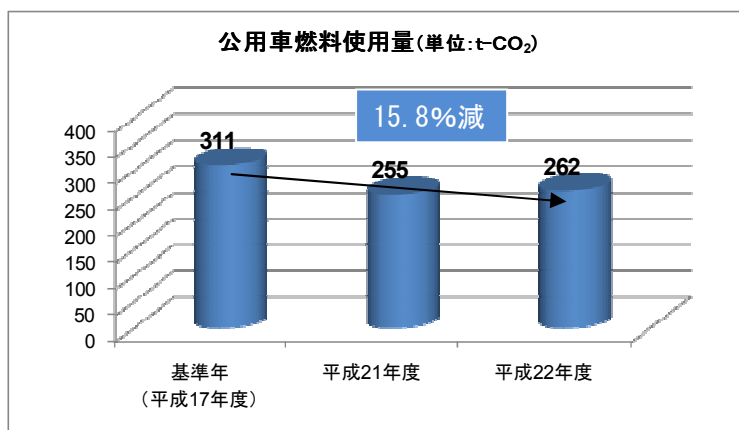
A 電気使用量の削減



電気使用量による温室効果ガス排出量は、基準年（平成 17 年度）と比較すると 376 t - CO₂ (18.8%) 増加しており、平成 21 年度に比べると 244 t - CO₂ (11.5%) 増加している。

増加要因としては、オール電化の南学校給食センターの供用開始、空調機器の増設等の施設・設備の更新に係る影響、夏期の高温及び冬期の低温による空調の使用頻度の増加が挙げられる。

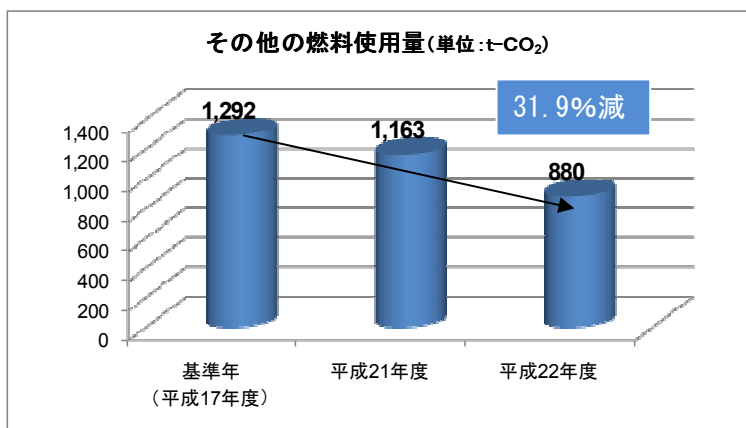
B 公用車燃料使用量の削減



公用車燃料使用による温室効果ガス排出量は、基準年（平成 17 年度）と比較すると、49 t - CO₂ (15.8%) の削減が図られたが、前年度比では 2.7% の微増となった。

エコドライブの定着や、低燃費車量の導入等により、削減目標が達成されており、台風や地震の災害対応の影響など突発的な状況を除けば、順調に削減が図られている。

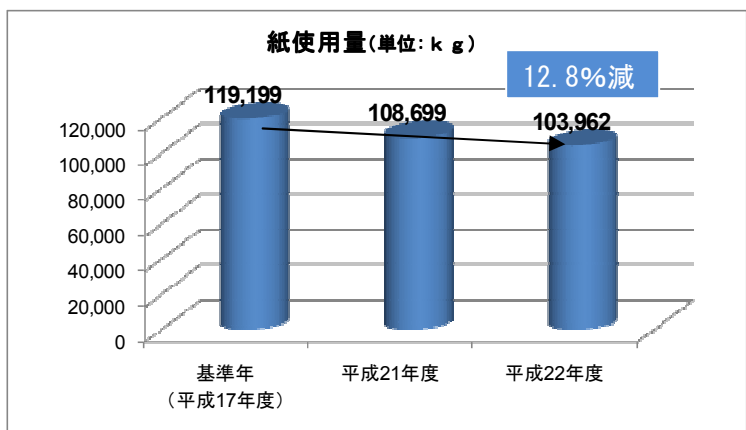
C その他の燃料使用量



その他の燃料使用による温室効果ガス排出量は、基準年（平成17年度）と比較すると、31.9%と大幅に減少しており、前年度と比較しても、24.3%減少している。

第2・3学校給食センターが南学校給食センターに統合されたことによるエネルギー転換が大きな要因であるが、その他施設においても空調機器の適切な利用により、使用量の削減が図られている。

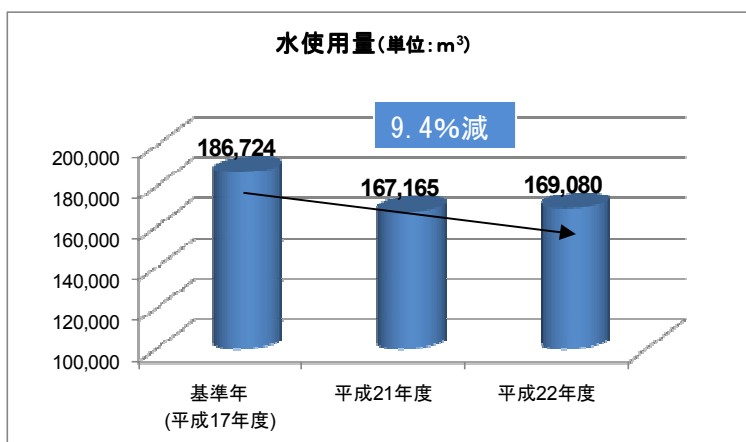
(2) 紙使用量の削減



紙使用量は、基準年（平成17年度）と比較すると、15,237kg（12.8%）減少しており、前年度比でも4,737kg（4.4%）減少している。

各部署において、文書の電子化や両面印刷の励行、発行部数の見直し等の積極的な取り組みにより削減が図られている。

(3) 水使用量の削減

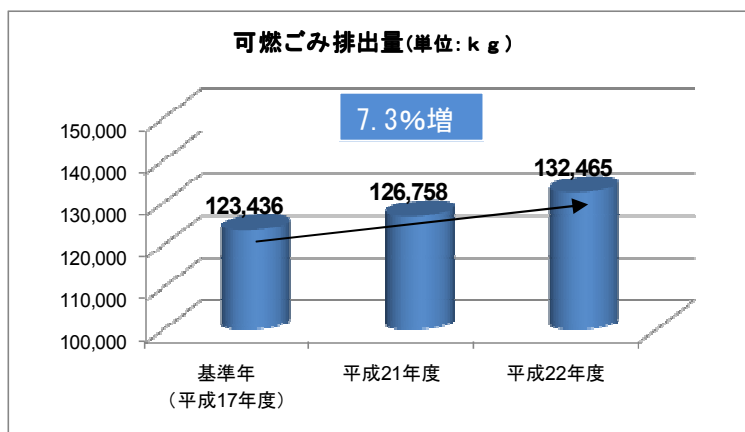


水使用量は、基準年（平成17年度）と比較すると17,644 m³（9.4%）減少しているが、前年度比では1,915 m³（1.1%）の微増である。

節水・漏水対策が徹底される一方、校舎等建替え工事により使用量が増加した。

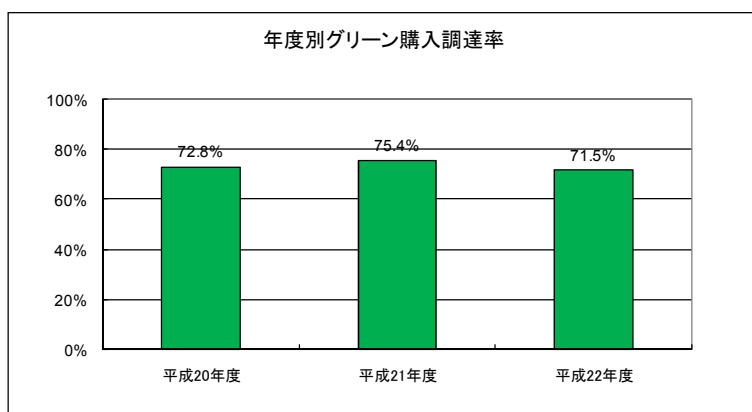
2 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

可燃ごみ排出量の削減



可燃ごみは、基準年（平成17年度）と比較すると、9,029kg（7.3%）増加しており、前年度と比較しても5,707kg（4.5%）増加している。

3. グリーン購入の推進



適合品調達率71.5%、非適合品調達率28.5%となり、目標値である適合率70%を達成しています。